

授業科目名	人間の構造と機能 形態機能学	分野・科目	専門基礎分野・人間の構造と機能
単位数	4	開講学年	●●●
担当教員	●●●	授業形態	講義 (1 単位=11 回、44 時間想定)
科目の概要			
<ul style="list-style-type: none"> 各単元は2~3回とする。 1回目は講義を中心に教科書を用いて、基本的なからだの仕組みを説明する。講義内容は、日常生活行動「食べる」や「動く」などを単元として板書をしながら説明する。 2回目は、1回目の講義内容をもとにケーススタディを用いて日常生活行動が障害された際のからだの変化を説明する。 この科目では、Team Based Learning、臓器実習や実地体験の演習を行う中で、講義で学んだ形態機能学の知識を活用しながら理解を深めるアクティブラーニングの手法を用いる。 			
授業の到達目標			
<p>形態機能学は、健康状態の査定、疾病の日常生活行動への影響、日常生活行動を援助する看護技術の理解の基礎知識となるものである。従って、以下の視点から人間のからだを理解することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人間はどのようなからだの仕組みで生きているのか、また看護ケアの焦点である日常生活行動をどのような仕組み(形態と機能)で行っているのかを学び、理解する。 からだに変化を与える病変の知識を学び、からだの仕組みにどのように影響するのかを考え、理解する。 上記1, 2の理解をもとに、からだの仕組みが障害された時、からだにどのような変化が起こるのか、それは日常生活行動にどう影響するのか、生きていることにどう影響するのかを考え、理解する。 			

	授業内容	授業計画	教科書の該当章・節
1	イントロダクション	【講義】 ・形態機能学とは「日常生活行動とからだ」 ・臓器実習や演習に関するオリエンテーション 【課題】 イントロダクションを受講するために、本科目のシラバスを持参すること。 予習：本科目のシラバスを読むこと 復習：イントロダクションで学んだ概要を自分の言葉でノートにまとめてみる(箇条書きでも良い)	
2	「いのち」が誕生する・生まれる	【講義】 生命の誕生；生まれること、ひとの器官の成り立ち、遺伝とは(講義) 予習：事前に教科書第1章『いのち』が誕生する・生まれる」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。	第1章『いのち』が誕生する・生まれる」
3	からだの内部を一定に保つこと： 内部環境の恒常性1	【講義】 ひとにとっての内部環境の恒常性とは、からだの内部を一定に保つこと 【課題】 予習：事前に教科書第2章『ひと』として生きる、生活する」「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。	第2章I節『ひと』として生きる、生活する」 第2章II節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
4	からだの内部を一定に保つこと： 内部環境の恒常性2	【講義】 体液(血漿、間質液、リンパ液の組成と量) 【課題】 予習：事前に教科書第2章「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。	第2章II節「生きる・生活するためのからだのしくみ」

5	からだの内部を一定に保つこと： 内部環境の恒常性 3	<p>【講義】応用問題（下痢の一人暮らし高齢女性のケーススタディ）を説く（TBL）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・事例に沿って内部環境の恒常性について考える ・上記の内容から看護ケアを考えてみる。 <p>【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
6	恒常性維持のための流通機構 1	<p>【講義】ひとにとっての流通機構とは、流通機構の原動力である心臓</p> <p>【課題】 予習：事前に教科書第2章「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
7	恒常性維持のための流通機構 2	<p>【講義】流通の経路：動脈・静脈・リンパ管、血球が生まれて、働き、破壊される</p> <p>【課題】 予習：事前に教科書第2章「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：事後テストの実施と授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる。</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
8	恒常性維持のための流通機構 3	<p>【講義】実地体験演習(自分の心拍、脈拍の測定)</p> <p>【課題】 予習：事前に看護学全書 解剖生理学 p.99～166 第4章「血液循環のしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：実地体験演習で学習した内容を一通り、自分なりにノートにまとめてみ。</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
9	恒常性維持のための調節機構 1	<p>【講義】ひとにとっての調節機構とは、中枢神経系、末梢神経系、神経性調節</p> <p>【課題】 予習：事前に教科書第2章「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
10	恒常性維持のための調節機構 2	<p>【講義】液性調節、体液の酸塩基平衡の調節、体温の調節、発熱</p> <p>【課題】 予習：事前に教科書第2章「生きる・生活するためのからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」
11	恒常性維持のための調節機構 3	<p>【講義】応用問題（初めての入院で緊張をしている患者に関するケーススタディ）を説く（TBL）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・事例に沿って恒常性維持のための調節機構を考える ・上記の内容から看護ケアを考えてみる。 <p>【課題】 予習：学習ノートの復習</p>	第2章Ⅱ節「生きる・生活するためのからだのしくみ」

		復習: 授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	
12	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 目覚める・思考する 1	【講義】ひとにとって「目覚める、思考する」とは、「目覚める、思考する」を支える形態と機能 【課題】 予習: 事前に教科書第2章「大人のからだ; 日常生活行動を行うからだのしくみ」を読んで授業に臨む。 復習: 授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめて直してみる。	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
13	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 目覚める・思考する 2	【講義】実地体験演習(ドリルや動画鑑賞してみよう) 【課題】 予習: 事前に看護学全書 解剖生理学 p. 409~472 第10章「情報伝達と処理のしくみ」を読んで授業に臨む。 復習: 実地体験演習で学習した内容を一通り、自分なりにノートにまとめてみる。	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
14	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 動く・活動する 1	【講義】ひとにとって「動く・活動する」とは、「動く・活動する」を支える形態と機能 1 【課題】 予習: 学習ノートの復習 復習: 授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
15	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 動く・活動する 2	【講義】「動く・活動する」を支える形態と機能 2 【課題】 予習: 学習ノートの復習 復習: 授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
16	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 動く・活動する 3	【講義】実地体験演習(運動してからだを実感する) 【課題】 予習: 事前に看護学全書 解剖生理学 p. 289~362 第8章「からだの支持・運動のしくみ」を読んで授業に臨む。 復習: 実地体験演習で学習した内容を一通り、自分なりにノートにまとめてみる。	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
17	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 息をする 1	【講義】ひとにとって「息をする」とは、「息をする」を支える形態と機能 1 【課題】 予習: 学習ノートの復習 復習: 授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
18	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 息をする 2	【講義】「息をする」を支える形態と機能 2 【課題】 予習: 学習ノートの復習 復習: 授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
19	大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ 息をする 3	【講義】実地体験演習(肺活量、呼吸回数を測ろう) 【課題】 予習: 事前に看護学全書 解剖生理学 p. 167~208 第5章「呼吸のしくみ」を読んで授業に臨む。 復習: 実地体験演習で学習した内容を一通り、自分なりにノートにまとめてみる。	第2章IV節「大人のからだ; 日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
20	大人のからだ; 日常生活	【講義】ひとにとって「食べる」とは、「食べる」を	第2章IV節「大人のからだ; 日常

	行動を行うためのからだのしくみ 食べる 1	支える形態と機能 1 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	生活行動を行うためのからだのしくみ
21	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ 食べる 2	【講義「食べる」を支える形態と機能 2 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
22	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ 食べる 3	【講義】応用問題（経管栄養の患者のケーススタディ）を説く（TBL） ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・食べるの形態と機能を考える ・上記の内容から看護ケアを考えてみる。 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
23	中間試験	筆記試験：1回～24回「食べる」まで	
24	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ トイレに行く 1	【講義】ひとにとって「トイレに行く」とは、「トイレに行く」を支える形態と機能（排尿する） 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
25	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ トイレに行く 2	【講義】ひとにとって「トイレに行く」とは、「トイレに行く」を支える形態と機能（排便する） 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
26	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ トイレに行く 3	【講義】応用問題（ベッド上安静を強いられている患者のケーススタディ）を説く（TBL） ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・トイレに行くの形態と機能を考える。 ・上記の内容から看護ケアを考えてみる。 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
27	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ お風呂に入る、身だしなみを整える	【講義】ひとにとって「お風呂に入る、身だしなみを整える」とは、「お風呂に入る、身だしなみを整える」を支える形態と機能 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
28	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ	【講義】ひとにとって「眠る、休息する」とは、「眠る、休息する」を支える形態と機能 【課題】	第 2 章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」

	眠る、休息する	予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	
29	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ コミュニケーションをとる 1	【講義】ひとにとって「コミュニケーションをとる」とは、「コミュニケーションをとる」を支える形態と機能 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
30	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ コミュニケーションをとる 2	【講義】実地体験演習（コミュニケーションクイズ） 【課題】 予習：事前に看護学全書 解剖生理学 p. 409～472 第10章「情報伝達と処理のしくみ」を読んで授業に臨む。 復習：実地体験演習で学習した内容をスケッチにまとめてみる。	第2章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
31	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ 性を営む 1	【講義】ひとにとって「性を営む」とは、「性を営む」を支える形態と機能 1 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
32	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ 性を営む 2	【講義】「性を営む」を支える形態と機能 2 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
33	大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ 性を営む 3	【講義】応用問題（基礎体温測定の結果を看護師に相談している 30 歳代女性のケーススタディ）を説く（TBL） 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる	第2章IV節「大人のからだ；日常生活行動を行うためのからだのしくみ」
34	中間試験	筆記試験：26回～35回「生を営む」まで	
35	子どものからだ 1	【講義】成長・発達の原則、胎児期、新生児期、乳児期 【課題】 予習：事前に教科書第2章「子どものからだ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。	第2章III節「子どものからだ」
36	子どものからだ 2	【講義】幼児期、学童期、思春期、青年期 【課題】 予習：事前に教科書第2章「子どものからだ」を読んで授業に臨む。 復習：授業後は、授業で学習した内容を一通り自分なりにノートにまとめ直してみる。	第2章III節「子どものからだ」
37	高齢者のからだ	【講義】ひとが年をとるということ、老化によるからだの変化と日常生活への影響 【課題】 予習：学習ノートの復習 復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにま	第2章V節「高齢者のからだ」

		とめてみる	
38	高齢者のからだ 2	<p>【講義】応用問題（自宅で夏、洗濯を干している 85 歳女性のケーススタディ）を説く（TBL）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・事例に沿って高齢者のからだを考える <p>上記の内容から看護ケアを考えてみる。</p> <p>【課題】</p> <p>予習：学習ノートの復習</p> <p>復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第 2 章 V 節「高齢者のからだ」
40	病を患う・病気になる 1	<p>【講義】出血を止めるしくみとその異常、からだを外敵から守るしくみとその異常、からだを治すしくみとその異常</p> <p>【課題】</p> <p>予習：学習ノートの復習</p> <p>復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第 3 章「病を患う・病気になる」
41	病を患う・病気になる 2	<p>【講義】実地体験演習（病理映像と模型での演習）</p> <p>【課題】</p> <p>予習：学習ノートの復習</p> <p>復習：実地体験演習で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第 3 章「病を患う・病気になる」
42	病を患う・病気になる 2	<p>【講義】応用問題（腫瘍の診断を受けた 40 代女性ケーススタディ）を説く（TBL）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な患者の例を挙げてチームで話し合い、学びを深める。 ・事例に沿って病を患う・病気になることを考える <p>上記の内容から看護ケアを考えてみる。</p> <p>【課題】</p> <p>予習：学習ノートの復習</p> <p>復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第 3 章「病を患う・病気になる」
43	「いのち」が終わる、「ひと」が死ぬ	<p>【講義】「いのち」とは、「生物学的ないのち」の死、「物語られるいのち」の死、「ひと」が死ぬ、魂について</p> <p>【課題】</p> <p>予習：学習ノートの復習</p> <p>復習：授業で学習した内容を自分なりにノートにまとめてみる</p>	第 4 章「いのち」が終わる、「ひと」が死ぬ
44	期末試験	筆記試験	

評価方法	中間試験(40%)、期末試験(40%)、事前事後テスト(10%)、学習態度(10%)
教科書・資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大久保暢子：新体系看護学全書 看護形態機能学、メヂカルフレンド社、2022. 2. Werner Platzer, Helga Fritsch, Michael Frotscher, 長島聖司訳：分冊解剖学アトラス 第6版、I 巻運動器、II 巻内臓、III 巻神経系と感覚器、文光堂、2011. 3. 聖路加看護大学 形態機能学の手引き(後日配布)
参考図書	・橋本尚詞他：新体系看護学全書 人体の構造と機能① 解剖生理学、メヂカルフレンド社、2020.

※日常生活行動について教科書と一部順番が異なるが、生徒が理解しやすいよう、自分のからだをイメージしてもらいながら大人のからだの構造と機能を学習した後、それと比較する形で、子どものからだ、高齢者のからだの順になるようにシラバスを構成した。